

# サル類の生息地

以下は、野生での個体数が急激に減少している、絶滅の危機にあるサルたちです。これらのサルが、どんな国や地域にすんでいるのか、図鑑などで調べよう。

## シャマン(フクロテナガザル)



国や地域:

スマトラ島、マレー半島

生息環境と特徴:

森林に生息。  
長い腕を使い、腕渡り(ブラキエーション)で移動する。  
葉や果実を主に食べる。

## シルバールトン



国や地域:

タイ、マレー半島、スマトラ島、ボルネオ島など

生息環境と特徴:

森林に生息。  
生まれたばかりの赤ん坊は金色をしており、3か月ほどで親と同じ銀灰色になる。  
木の葉を主に食べる。

## レッサースローロリス



国や地域:

インド、ベトナム、スマトラ、ボルネオ、フィリピン

生息環境と特徴:

森林に生息。  
夜行性で、夜の森をゆっくり移動し、果実や木の実、昆虫などを捕まえて食べる。

# サルのすむ森はどうなる？

①と②の結果から、私たち日本人のくらしと、遠い外国に生息するサルたちの間に、どのような関係があるのか、考えてみましょう。

「遠い外国」でも「近い」！！ 私たちの身の回りを見直すと、外国から輸入されたものがたくさんあります。原産国では輸出物を大量生産するために森林が伐採され、サル類をはじめとする多くの生物が生息地を失っています。遠いようで近い関係に気づいてください。以下のような項目を発展学習の参考としてください。

**生息地減少の原因** 木材を得るため、またエビ養殖池やアブラヤシのプランテーションをつくるための森林伐採がサルたちの生息地を奪っています。また伐採のための道路が生息地を分断したり密猟を容易にするなど、付随的な影響もある。

**ワシントン条約** 「絶滅のおそれのある野生動植物の種の国際取引に関する条約」。付属書Ⅰに記載された動物については、研究等の理由を除き全面的に国際取引禁止、付属書Ⅱに記載された動物は許可書が必要となる。詳しくは・・・<http://www.cites.org/> (英文)  
スローロリス、オランウータン、テングザルは全て付属書Ⅰに記載されている。

**IUCNのレッドリスト** 絶滅のおそれのある野生生物のリスト。環境省や各自治体などでも作成している。詳しくは・・・<http://www.iucnredlist.org/> (英文)  
スローロリス LOWER RISK (LR)、スマトラオランウータン CRITICALLY ENDANGERED (CR)、  
ボルネオオランウータン ENDANGERED (EN)、 テングザル ENDANGERED (EN)

**FSCの森林認証** Forest Stewardship Council、森林管理協議会)が森林環境保全や地域社会経済に配慮された木材を認証し、FSCマークを付与している。私たち消費者も「選ぶ」ことで森林保全に関与できる。

**フードマイレージ** 食料の輸送距離のこと。身近な生産地で作られた食料を利用することで、輸送のエネルギーを少なく、生産地の環境変化や安全性に配慮して食糧生産することができるというキャンペーン。